

STUDENT EXCHANGE NEWS



近江兄弟社中学・高等学校 国際交流委員会・留学生センターニュース

ISSUED BY THE INTERNATIONAL EXCHANGE COMMITTEE, OMI BROTHERHOOD SR. & JR. HIGH SCHOOLS

中国の姉妹校・南京外国語学校からの教師派遣プログラムは、2013年度から始まりました。今年度で4人目の先生を受け入れました。4人目の先生は、辛葦先生です。都合で、9月からの赴任でしたが、中国語の授業や留学生の日本語授業で活躍していただきました。3月の帰国を前にして、この半年の思い出を書いていただきました。

楽しい授業

辛葦

姉妹校招聘教員

姉妹校・南京外国語学校（中国）

期間：2016/08/25～2017/3/17

英語をしっかりと勉強しておけばよかった。でも後悔しても始まりません。授業は目の前に待っています。分かってくれるように身振り手振りだけでなく、恰好なんか気にしている余裕もなく、変な動作や声色を駆使していろいろ演じて伝えました。授業が終わった時には、シャツは汗でビッシヨリになってしまいました。疲れた…。



「日本でどんな仕事をしているの」とよく中国の友達に聞かれます。「授業することに決まってるじゃん。中国語の授業と日本語の授業よ」こう答えて、「日本語の授業も？日本で日本語を？」みんなすごく不思議に思っています。でも本当のことです、うそじゃありません。わたしは確かに学園で日本語の授業を週に二時間しています。ただし、教え子は外国から日本に来た留学生です。

初めての授業の様子はいまでもはっきり覚えています。コスタリカから来たクラウディア、オランダから来たミシェル、スイスからのリリー、中国人の私。四人の共通語は日本語です。留学生の三人は、日本語は挨拶ぐらいしかできません。私はもう十数年日本語を教えています。中国人以外の外国人に日本語を教えるのは初めてです。普段生徒がわからないところがあったら、中国語で一言説明すれば済むのですが、三人の日本語が解らない留学生にはどのように教えるのでしょうか。



三人の日本語が上達するにつれて、授業がとても楽しくなりました。わたしが教えるより、彼女たちと一緒に習っているといたほうが正しいかもしれません。授業中に辞書を引いたり、隣の部屋の国際部の先生たちに助けをもらったりするのが珍しいことではありませんでした。日本語の新しい使い方を留学生の三人にうまく伝えられた時はいつも嬉しくてたまりません。また授業中

一緒に、日本のことや自分の国のことについてしゃべったりすると、異文化の面白さに触れお互いの国に好奇心をくすぐられます。

同じ地球で暮らしても随分ちがっているなあと思われて、もっともっと未知の世界を自分の目で見たり、自分の耳で聞いたり、自分の手で触れた

りたりしたい気持ちになります。これこそ国際交流の魅力ではないかなと思っています。留学生の日本語授業は短いながら本当に素晴らしい体験です。色んな体験を積み重ね、歩み、豊かな人生を作ろうと思っています。

韓国からのホームステイ

前号で報告された韓国の姉妹校からの一泊ホームステイ（1月20日～21日）を受け入れたホスト生徒の感想を紹介します。

大切なもの

S24 億田 航大

ゲスト生徒：Lee Jun Ho



今回外国人が僕の家に来るのがとても不安で、どのくらい会話が成り立つのか心配でした。今回受け入れをした Jun Ho 君と対面した時「よろしくおねがいします！」と元気よく日本語で挨拶してくれました。お互いの伝えたいことを理解するのにとても大変でした。Jun Ho 君が頑張って日本語を話そうとしてくれるのにハングルを何も知らない僕は少し情けないと思いました。

翌日の京都観光では清水寺を訪れました。清水寺に辿り着くまでにたくさんのお店があり、とても喜んでくれました。お寺をお参りする時にどうやってするのか t3 聞かれ、韓国ではこのような文化がないのかと疑問に思いました。Jun Ho 君以外にもたくさんの方の昌原南高の生徒と会話をしました。中には英語もハングルも通じない人もいましたがジェスチャーや表情でも思いを伝えられることができました。分からないからそのままにするのではなく、一生懸命伝えようとしたら、相手もちゃんと聞いてくれます。そして、うまく通じたときは言語の壁を乗り越えられたのだと思いました。お別れするときにはとても寂しい気持ちでした。でも、「また韓国に遊びに来たときは会おうね」と言われて、僕は世界中に大切な友達ができたのだと

思い、今回の受け入れが大切なものになりました。

韓国の友だち

G28 戸田 昂佑

ゲスト生徒：Kim Bum Su, Kwon Min Sung



僕は今回ホームステイの受け入れをさせていただきました。二人受け入れをし、一人はキム・ボムスといって韓国に研修旅行に行った時に受け入れをしてもらいました。ボムスは小学一年生まで東京で過ごしていて、日本語が上手く、もうひとりのクォン・ミンソンという子の韓国語の通訳をしてもらいました。だから、コミュニケーションが取りやすかったです。2ヵ月ぶりに再会できてとても嬉しかったです。二人を連れて温泉に行ったり、友達と一緒に京都に行ったりしました。二人共、露天風呂が初めてでとてもテンションが高かったです。家ではゲームをしたり、少し散歩をしたりしてとても楽しかったです。将来の夢についても語り、ミンソンは建築家、ボムスは先生になりたいと言っていました。自分はまだ夢が定まっていないのに目指すものができていて僕はがんばろうと思いました。

今、日韓の関係はあまり良くはないです。しかし、僕は韓国にいる友だちとして二人とこれからも仲良くしていきたいです。



一生忘れない経験に

P23 奥野 弘佑

ゲスト生徒： Jin Yun Seong, Jung Hyeon Chan

この受け入れをする前、言葉は通じるのか、どうすればいい思い出になるのかと不安でいっぱいでした。やはり、言語には少し困りました。韓国語と日本語での会話ではなく、英語での会話でした。普段、私たちは英語を話す、聞くなどといった機会は授業以外ではほとんどありません。なので、なかなか聞き取ることができなかつたり、伝えたいことをなかなか表現できずにいましたが、気軽に話しかけてくれたおかげで、すぐに慣れることができ、楽しく会話をしたり、ゲームをしたりして過ごしました。

受け入れをして初めて知ったことなのですが、韓国の人は夜にお風呂に入る習慣があまりなく、朝にお風呂に入る習慣があるみたいです。朝、「シャワーを浴びたい」と言われて、おもわず「シャワーを浴びるの?」と聞き返してしまいました。

2 日目、京都へ向かう電車の中で色んなものを日本ではこう言ってるよ、韓国ではこう言ってるよと教え合いをしている間に京都に着き、観光をしました。清水寺へ行ったのですが、その道中にある日本の伝統的な建物などを見て、綺麗、素敵などと言ってました。これらに興味、関心があることが伝わってきました。

今回のような兄弟社ならではの貴重な体験で、うまく伝えようとしなくても、伝えたいという気持ちがあればある程度伝わるのが分かりました。また、韓国の人は国交など関係なく日本のことが好きで、日本のことについてとても興味、関心を持っていることも分かりました。一生忘れない経験になったと思います。

ただ今留学中

"Snowball", a part of American culture

111 岩田 圭果

姉妹校留学

留学先： Grand Rapids Christian High School (アメリカ)

期間： 2016/8/5 ~ 2017/3/25

It has been 5 months since I came here. The weather here is pretty crazy because it is winter now, and sometimes it is as warm as spring. It has been snowing since the day before yesterday. I made a big snow mountain with my host family.

At the beginning of January, I had a winterim which is able to experience other things, it is not like my usual classes. I took 2 classes of fitness. So I was able to go to a lot of fitness centers. It was really fun, but I think regular classes are more fun for me because I can talk to my friends and meet a lot of people.

In my school, we had a dance party called "snowball." I went there with my friends, but actually I don't know most of the people except my friends. Although I don't know many of them, they were still kind to me. I enjoyed spending time with them. The dance party is from 8:30 to 11:30 p.m. though, I just stayed for about 2 hours. A lot of people came and "danced". They were just jumping and screaming. I felt that was a part of American culture.

The second semester started, so my classes are different from last semester. I got new teachers and new classmates. At first, I was a little nervous, but I think it was much better than the day when I first came to this school.



I'm trying to enter some events this semester. I started "forensics". It's a speech club that is able to join big contest. There are so many kinds of speech or story-telling. I decided to do "oratory" which is about some political issues and global issues. I can't join every contest because I'm going to leave here at end of March, but the teacher is trying to let me make speech. And if I can finish making this speech and remember it, then I can join a contest. The speech that I'm trying to make is about Elimination of Nuclear Weapons. So in the future, I'm hoping I can speak somewhere about it by using this speech. I'm still making an outline right now though.

I'm also doing a campaign about elimination of nuclear weapons including atomic bombs. 15 people signed up for this but I'm still collecting signatures. I was afraid of collecting signatures because the US military dropped two atomic bombs on Japan, and I don't know how people think of it. But my teachers and friends usually give me their signatures except if

they have some privacy. I am glad being able to do that, and I will try to collect more than 100 before I go back Japan.

I feel this January passed so quickly. I can't believe it is February now. I'm still struggling in classes and sometimes with friends, but my host families are so

kind, they love Japanese food that I made. I am very grateful to be on this exchange. Sometimes I'm still disappointed with the way how I resolve things, I am sure not only I am getting better at English, but also getting better as a person. (2017/02/03 受信)

留学生受け入れ予定

現在の 2 名の留学生が、学園に滞在し、学習を続けています。4 月には、オーストラリアとタイの姉妹校から約 1 か月の短い期間ですが、それぞれ 2 名の留学生を受け入れます。また、YFU の年間滞在の留学生 1 名を受け入れます。簡単な自己紹介と写真を掲載します。



Frances Clarke
2001 年 10 月生 女子
出身校：St. Patrick's College
出身国：オーストラリア
趣味特技：ハイキング、キャンプ、美術、音楽
好きな教科：美術、数学、日本語、哲学



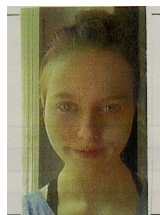
Sam Tys
2001 年 5 月生 男子
出身校：St. Patrick's College
出身国：オーストラリア
趣味特技：テコンドー、歴史
好きな教科：歴史、クッキング



Chanidapa Phaopaisitsrianun (Ping)
1999 年 10 月生 女子
出身校：Roong Aroon School
出身国：タイ
趣味特技：読書、音楽鑑賞、映画鑑賞、食べること
好きな教科：日本語、英語、歴史、タイ音楽、水泳



Pabhawarinth Sitthichoti (Sai)
1999 年 10 月生 女子
出身校：Roong Aroon School
出身国：Thailand
趣味特技：音楽鑑賞、マンガ、友だちと話すこと
好きな教科：美術、音楽、日本語、数学



Tone Ellen Sabo
2000 年 1 月生 女子
出身校：Helsingin Kielilukio
出身国：Finland (国籍：Norway)
趣味特技：テコンドー、水泳、ハイキング、友人と過ごすこと
外国語：英語、日本語、スウェーデン語



近江兄弟社高校生対象

Colorado College Academic Program (CCAP) コロラドカレッジ 短期留学プログラム

創立者ヴォーリズ先生の出身校の Colorado College (アメリカ・コロラド州) において英語習得・及び英語でのリサーチに取り組む新留学制度を案内します。7 月(アメリカの大学の夏休み)に、大学の寮に宿泊するプログラムを計画しました。アメリカ留学体験です。従来の短期留学よりもさらに「英語習得」と興味のあることの「研究」に特化した高校生対象の「集中英語学習」プログラムです。

学内進学の中 3 生の皆さんにも近々、そして入学後にも説明会を行います。中期・長期の交換・派遣留学とあわせ、高等学校での君の新たな挑戦の一つにしてください。

プログラムの概要

- (1) 実施時期 2017 年 7 月 4 日(火)～21 日(金) この間は公欠扱い
- (2) 対象・定員 高校生 新 1・2・3 年生 12 名

※英語上達に対して『高い動機』を持ち、実践的な英語を身につけたい生徒を募集します。また、研究したい具体的な課題を提示できるものとします。生活そのものに対して適応力のある『自立した』生徒であること。また、大学での留学を視野に入れている生徒も対象となります。



宿泊する寮